

看護部だより

第91号
平成29年9月11日発行
国際医療福祉大学病院看護部

新人看護師部署配属後の意気込み

7月より新人看護師が、各部署に配属されました。
プリセプター・プリセプティより、配属先での意気込みを伺いました。



看護師1年目として、積極的に学ぶ姿勢を忘れずに、日々の業務を担っていきたいです。

B棟3階病棟

プリセプティ 近藤 史子(左)



寄り添いの気持ちを忘れずに一緒に頑張っていきます。

B棟3階病棟

プリセプター 立川 晴美(右)

看護師になって日は浅く経験は少ないですが、毎日振り返って安全安楽な看護を提供し、いち早く戦力になれるよう成長して行きます。

A棟3階西病棟

プリセプティ 間中 崇斗(左)



心の支えになれるように相談しやすい環境を作り、業務や接遇の場面で見本となる先輩になり共に成長していきたいです。

A棟3階西病棟

プリセプター 関根 実恵子(右)

日々新たな気づきと学びを深めています。先輩方の背中を見て、看護師としてだけでなく、人としても成長していきたくと思っています。

A3東病棟(難病)

プリセプティ 久保田 遥(左)



プリセプティとの関わりの中で、自分の中で不足していた知識などが見えてきて、負けずに勉強しようと思っています。共に成長し、より良い看護を目指していきたくです。

A棟3階東病棟(難病)

プリセプター 矢萩 実希(右)

看護部医療機器ラダー研修

看護師の医療機器への基礎知識を徹底するため、当院では医療安全管理室と臨床工学技士によるレベル別の医療機器研修があります。7月22日(火)のレベルI研修では、輸液ポンプ・シリンジポンプ・人工呼吸器の取り扱い方・注意すべき点などについて講義・演習が行われました。研修で基礎知識・技術を学び、日々の看護で患者様に安全な医療を提供できるエキスパートを目指したいと思います。



ストーマサイトマーキング



当院には、人工肛門又は人工膀胱のケアにかかる研修修了者が、8名います。今回、皮膚・排泄ケア認定教育課程修了者に話を伺いました。

「皮膚・排泄ケア認定教育課程では創傷-Wound-（健康な皮膚を維持するためのスキンケア・健康を損なった皮膚の治癒環境の提供）オストミー-Ostomy-（ストーマを持った人がその人らしく生活が送れるようにサポートする）コンチネンス-Continence-（便・尿失禁に伴う機能改善のケア・排泄管理）の分野について学んできました。

今後はストーマ造設前後で生活の変化がないようにストーマサイトマーキングを行い、オストメイトがその人らしく生活できるようサポートを行いたいと思っています。」

A棟4階西病棟 副主任 内山 由香子



他部署紹介

薬剤部

薬剤部職員は、薬剤師29名、助手4名、事務員2名の計35名です。業務は、外来・入院の調剤、各部署の薬品管理、薬剤管理指導、外来・入院化学療法業務、入院患者の持参薬鑑別などを行っています。また、関連の大学クリニックやリハビリセンターへの派遣業務も行っています。

★看護部に一言★

多くの業務で看護師の皆様と協働しています。

今後ともよろしくお祈いします。

薬剤部長 橋本 秀雄



抗がん剤注射の調整

病棟での服薬指導の様子



編集後記

今回は秋のイラストを使用し季節感を出しました。たくさんの方々にご協力いただき、無事に看護部だよりを発行することができました。ありがとうございました。今後も初心を忘れず共に成長できるよう頑張りたいです。

〈看護部だより編集委員会〉森 玲衣奈・松本 佳穂里

